

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	POCCO南アルプスしらね		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 7日		～ 2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児について、職員全員に情報共有できている。またその情報共有から個々の特性を把握して、療育にあたっている。	・毎日のミーティング開催および議事録作成。全職員がもれなく閲覧できるようにしている。また月1回の事業所ミーティングをおこない、よりよい療育ができるよう話し合いをおこなっている。ミーティングでは障がいや特性などについて学びの場を設け理解を深められるようにしている。(職員の質の向上)	・研修への積極的な参加をしていきたい。
2	・個々のニーズに応じて、都度改善、環境調整をしている。	・特性を可能な限り把握し、個々のニーズに合った活動を計画している。改善点があれば職員で話し合い、トライ&エラーではあるが、試みている。PDCAサイクルを実践。	・事業所間の情報交換。(活動の成功事例など)
3	・個別活動と集団活動が充実している。SM社会生活能力検査やKIDSの検査結果などをもとに、個々にあった対応を心がけている。	・検査結果だけでなく、日々の観察から利用児の発達段階を見抜き、成長を理解し適切な療育をおこなうことができるようにしている。また資料などをいつでも確認できるようにしている。	・全員が検査結果などを把握し、活動に取り組める工夫が必要である。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・医療的ケア児を受け入れる体制がない。	・人員配置の難しさ。	・受け入れ態勢がないため、検討していく必要がある。
2	・職員のスキル・経験の差	・スタッフの中に経験や資格の有無でスキルのばらつきがある。 ・特定の障害や特性に対する知識や対応スキルが不足している。	・研修参加や勉強会への積極的な参加をする。
3	・地域とのつながり不足(一部の限られた資源のみになってしまっている)	・これまで社内や、警察署や消防署、いくつかの企業や団体との繋がりを持ってきた。まだまだ感染症などに敏感なことも多いため、慎重になっている。	・感染症対策をしっかりとこない、検討していきたい。